

■関孝和 天才的和算家。初めて筆算採用，西洋数学の先駆的内容含む高度なものに革新し，“算聖”と崇められる。

せきたかかず

鎖国令Ⅴ・・・1639＝ この頃，上野国藤岡から江戸牛込に移り住んだ幕臣内山七兵衛永明の次男に生まれる。

家光鎖国完成1641＝ 2歳：

・・・・・・1646＝ 7歳：父が死去，後を継いだ兄が天守番となり，のち勘定頭か代官へと出世して行く。

市中諸法度・1648＝ 9歳：前半生は謎につつまれ，幕府の大目付井上政重の保護を受けて，小石川のキリシタン屋敷の一角で，西洋につながる教育を受けたという説はともかく，**数学的才能を発揮し始め**，

徳川家光没・1651＝12歳：

野郎歌舞伎始1653＝14歳：武者修業も兼ねて駿府の松木家に出され，

明暦の大火・1657＝18歳：人身売買禁止1658＝19歳：この年，なお最先端の数学とされる中国の天元術を朝鮮経由で日本に初めて紹介した**350年前の元の朱世傑算学啓蒙**が訓点をつけた**「新編算学啓蒙」**として復刻されるも，理解できる者はほとんどいないなか，

清帝国始・・・1661＝22歳：危篤となった政重の遺言説もあるが，**甲府藩の関家の養子となり，江戸の藩邸で徳川綱重に仕えるうち**，この間，奈良に赴いて**「楊輝算法」**を書写したともいわれ，盛んになって来た遺題承継の算書を片端から入手して勉学を重ねるうち，**数学について特別な能力を身につけ**，

諸宗寺院法度1665＝26歳：養父が死去して家督を相続，勘定方となる。

酒井忠清大老1666＝27歳：

・・・・・・1671＝32歳：この年，**ようやく天元術を理解した沢ロー一之が「古今算法記」**を出版し巻末につけた通常天元術では解けない15問の遺題についても，直ぐに解けて著作したと思われるが，もともと自己顕示欲が無い上，東西海運確立1672＝33歳：「**闕疑抄一百問答術**」。**藩で一揆が始まり，江戸騒動にまで発展したため，公開を遠慮するも，弟子たちから勧められ，騒動が決着すると直ちに**，

・・・・・・1674＝35歳：談林派俳諧・1675＝36歳：評判となって役人らからも認められ，・・・・・・1676＝37歳：**建部賢明・賢弘兄弟が入門して来て，以後，彼らの協力も得ながら，研究を続け**，・・・・・・1677＝38歳：勘定方組頭補佐に任じられ，藤十郎登場・1678＝39歳：**綱重が死去，引き続きその子綱豊に仕え，大きな信頼を得て勘定吟味役に昇進**。

越後騒動・・・1679＝40歳：密かに改暦を考える藩主の意向に従って天文研究を深め，綱豊の配慮で結婚。この年，沢ロー一之と同門で「発微算法」に衝撃を受けた京都の数学者田中由真が意図的に少し異なる方法で遺題を解いた「算法明解」を出版するも，とくに反応を示さずにいると，

徳川綱吉將軍1680＝41歳：**最初**の天文書「授時発明」や数学書「求立円積術」「八法略訣」を著し，天下一禁止・1681＝42歳：今度は田中由真の門人が「発微算法」を攻撃する「算学詳解」を出版，**天文書「授時曆経立成之法」著述**。八百屋お七・1683＝44歳：師を守ろうとする建部兄弟の懇願で，賢弘が「研機算法」を出版して反撃するのを許し，**「諸約之法」「算脱驗符之法」「方陣円積之法」行列式のアイデア示す「解伏題之法」などを著述する一方，建部兄弟が孝和の研究成果の集大成を図るべく「大成算経」に着手**，

堀田正俊暗殺1684＝45歳：**一般的な招差法を完成，それまでの成果を**出世景清初演1685＝46歳：建部賢弘はさらに詳細な解説書「発微算法演段診解」を出版し，多くの数学者が納得するに至る。**方程式の解き方示す「解隠題之法」や「開方翻変之法」「題術弁議之法」「病題明致之法」としてまとめ**，

・・・・・・1686＝47歳：6歳くらいの長女が夭折するという悲しみの中，**天文曆学書「関訂書」を完成**。湯島聖堂・・・1690＝51歳：この年，建部賢弘が，前後して賢明も養子に出て，協力者を失ったためか，**以後，研究から離れて行く**。

奥の細道・・・1693＝54歳：綱豊が新井白石を召し抱えたことから面識を持ち，

生類憐令頂点1695＝56歳：

・・・・・・1697＝58歳：「四余算法」「宿曜算法」，

・・・・・・1699＝60歳：二人目の娘も15歳くらいになったところで麻疹で失う。「二十四気昼夜刻数」，

赤徳浪士討入1702＝63歳：

団十郎刺殺・1704＝65歳：**綱豊が5代將軍徳川綱吉の世子となって江戸城に入るのに従い，御納戸組頭となる**。

病がちとなり，武家の存続を図るべく，実弟の子新七郎を養子とし，・・・・・・1706＝67歳：新七郎を綱吉に拝謁させて**致仕し**，兄が上級旗本にまで出世しているのに対し，中級旗本として幕府からはほとんど無視されて，

辻ヶが拘束・1708＝69歳：**没した**。

新潮新書「江戸の天才数学者」，三百年祭記念「関孝和の人と業績」，鳴海風「算聖伝」，王青翔「算木」を超えた男」，「この人どんな人」，「没年日本史人物事典」，「日本の群像」，平凡社百科事典，「目でみる日本人物百科」，日本の古典名著，